




土砂災害対策

●土砂災害の種類と主な前兆現象

土砂災害の種類	がけ崩れ	地すべり	土石流
特徴	 <p>斜面の地表に近い部分が、雨水の浸透や地震等でゆるみ、突然、崩れ落ちる現象。崩れ落ちるまでの時間がごく短いので、人家の近くでは逃げ遅れも発生し、人命を奪うことが多い。</p>	 <p>斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象。土塊の移動量が大きいので甚大な被害が発生。</p>	 <p>山腹や川底の石、土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流される現象。時速20～40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまうことも。</p>
主な前兆現象	<ul style="list-style-type: none"> ・がけにひび割れができる ・小石がパラパラと落ちてくる ・がけから水が湧き出る ・湧き水が止まる・濁る ・地鳴りがする 	<ul style="list-style-type: none"> ・地面がひび割れ・陥没 ・がけや斜面から水が噴き出す ・井戸や沢の水が濁る ・地鳴り・山鳴りがする ・樹木が傾く ・亀裂や段差が発生 	<ul style="list-style-type: none"> ・山鳴りがする ・急に川の水が濁り、流木が混ざり始める ・腐った土の匂いがする ・降雨が続くのに川の水位が下がる ・立木が裂ける音や石がぶつかり合う音が聞こえる

参考 政府公報オンライン

- 大雨警報発表後、今後の降雨予測に基づいて「土砂災害警戒情報」が発表されます。山（がけ）崩れに伴う危険箇所または土石流に伴う危険箇所付近に居住されている方は、自主的な避難を開始しましょう。（市は、土砂災害警戒情報などの情報を参考に「避難勧告等」を発令します。）お年寄りや障がいのある人など避難に時間がかかる人は、移動時間を考えて早めに避難することが大切です。
- 土砂災害の多くは木造建物の1階で被災しています。どうしても避難場所への避難が困難なときは、次善の策として、近くの頑丈な建物の2階以上に緊急避難するか、それも難しい場合は家の中でより安全な場所（がけから離れた部屋や2階など）に避難しましょう。
- 土砂災害警戒情報の発表がなくても、場所によっては局地的な異常現象も考えられます。普段と違う状況に気付いたら、周りの住民に声を掛け、安全な場所に避難してください。（後で市に連絡してください。）
※大雨警報解除後も土砂災害の可能性があるので、避難場所から帰宅する場合は事前に市の了解を得てください。
- 土砂災害に伴う危険箇所は、「小松島市WEB版防災ハザードマップ」で確認してください。
※WEB版防災ハザードマップは、市ホームページにも掲載しているほか、スマートフォンやタブレット端末でも確認できます。

【お問い合わせ先】 市危機管理課（市役所4階） ☎32・2227 / FAX 32・3522
Mail:bousai@city.komatsushima.i-tokushima.jp